

## 第1回 夜須高原こども芸術まつり

### 1 趣 旨

幼児及び小学生を含む家族を対象に、「地域の芸術家・機関・団体」と「夜須高原の里地里山」の自然・文化環境を組み合わせ、相乗効果を活かした芸術的自然体験活動の場と機会を提供する。

### 2 主 催

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立夜須高原青少年自然の家

### 3 期 日

#### 【10月】

①10月11日（日）、②10月24日（土）、③10月25日（日）

#### 【11月】

④11月1日（日）、⑤11月3日（火）、⑥11月14日（土）、⑦11月15日（日）

⑧11月29日（日）

### 4 会 場

国立夜須高原青少年自然の家

### 5 対 象

幼児及小学生を含む家族

### 6 参加者

全日程合計440人（大人：220人、子供：220人）

各回参加者数：

①10月11日 合計31人（大人：13人、子供：18人）

②10月24日 合計42人（大人：22人、子供：20人）

③10月25日 合計68人（大人：36人、子供：32人）

④11月 1日 合計60人（大人：31人、子供：29人）

⑤11月 3日 合計52人（大人：25人、子供：27人）

⑥11月14日 合計41人（大人：22人、子供：19人）

⑦11月15日 合計89人（大人：41人、子供：48人）

⑧11月29日 合計57人（大人：30人、子供：27人）

### 7 日 程（各活動詳細については別紙参照）

①10月11日 （傘の向こうになにがみえる？、森のめぐみアート）

- ②10月24日 (木のバターナイフ作り、甘木絞り染め体験)
- ③10月25日 (森のめぐみアート、甘木絞り染め体験、森のレストラン)
- ④11月 1日 (傘の向こうになにがみえる?、甘木絞り染め体験)
- ⑤11月 3日 (森のめぐみアート、甘木絞り染め体験)
- ⑥11月14日 (木の虫かご作り、森の写真家になろう、ミツロウ蠟燭作り)
- ⑦11月15日 (木の虫かご作り、森の写真家になろう、ミツロウ蠟燭作り)
- ⑧11月29日 (ミツロウ蠟燭作り、森のレストラン)

※全日程を通して、焚火、薪割り、丸太切り体験も併せて実施

## 8 活動の実際

別紙参照

## 9 感想

- ・自然の中で活動すると、心も体も元気になります。講師の方々も優しく、丁寧に教えて下さり、作品を褒めて下さり、楽しい一日を過ごすことができました。
- ・コロナで参加できず、久しぶりに参加しましたが、とても楽しかったです。講師の方が、何度も見に来てくれ、子供たちにやさしくアドバイスして下さい、子供達もその気になり、ありがたかったです。
- ・楽しすぎて時間が足りませんでした。とても楽しい時間をありがとうございました。
- ・親子で久しぶりに楽しめました。日頃なかなか時間が取れず、子供と工作などできないので、とても良い時間を過ごせました。
- ・とても寒かったので、焚火やドリンクなどがうれしかったです。まきわり、アートづくり、藍染、どれも子供たちは初めての体験で、とても楽しんでいました。
- ・家庭の教育方針の一つに、自然とのふれあいや身近な環境との関わりを深めることに心がけております。そうは思っても、福岡市中心部ではできることが限られており、今回の活動は本当に有り難いものでした。ミツロウ作りのお話も本当に楽しかったです。何よりも子供たちが喜んでくれたことがうれしいです。
- ・虫かご作りは細かい作業だったので、娘が途中で投げ出してしまうのではないかと心配していましたが、トンカチ、クギ、板をつなげていく作業を楽しそうにしていました。
- ・ピザの生地づくりから、石窯にも大人の方と一緒に入れるところまで、体験できてとても良い経験ができました。
- ・毎回感動するほどに内容がよく。親子でいい時間を過ごさせてもらっています。初めての経験をこちらでさせてもらうことが多く、どれもすごく記憶に残っています。
- ・どこもコロナでイベントが少なく、子供に体験をさせてあげられないので、またこのようなイベントを行ってほしいです。
- ・コロナで自粛の中、野外で活動することで、子供ものびのびと活動ができてとても良かったです。筑前町の中にこんないいところがあるということ気付いて良かったです。本当に参加することができて楽しい一日でした。

## 10 成果

- ・コロナ禍下であったが、多くの人に自然の中での活動を提供することができた。また、これまで広報ができていなかった福岡市内中心部へ広報を行ったことにより、夜須高原に足を運んだことのない参加者に施設環境をアピールすることができた。
- ・コロナ禍で各種イベントが中止となった地域のアーティストの方々に、イベント開催の機会を提供することができ、さらに参加者に地域の芸術や伝統について広報することができた。
- ・地元のアーティストの方とのネットワークを構築できた。

## 11 課題

- ・コロナ禍下の事業ということもあり、大変盛況であったが、3密を避けるために参加者数を絞らざるを得なかった。そのため、募集期限を待たずに切となってしまったプログラムが多数あったため、より多くの人に体験の機会を提供することができなかった。来年度は本年度より期間を長く設け、なおかつ実施回数を増やす必要がある。
- ・実施日に複数活動があり、内容によっては参加者が差を感じるものがあったようである。そのため、参加者から当日に希望以外の活動を行いたいといった要望があったが、コロナウイルス感染拡大防止のために事前に参加者数をコントロールした上での案内であったため、案内できなかった。次年度実施の際は、午前午後と入れ替わりで参加者全員が同じ活動に参加できるような案内が必要と考える。

## アート夢プロジェクト『第1回 夜須高原こども芸術まつり』活動詳細

### 【傘の向こうになにが見える？】

講師：平 寛（福岡教育大学 非常勤講師）

内容：夜須高原の空気や空、水に見立てた透明な傘に色ペンを用いて描く活動。身近な自然、生き物の事を考え、ものづくりの楽しさを体感する

### 【森のめぐみアート】

講師：古賀 和博（中村学園大学短期大学部 教授）

内容：森の中から自分で探してきた木の枝と廃材などの木片を使い、自由な発想でユニークなモビール又はヤジロペー作りを行う。

### 【木のバターナイフ作り】

講師：樋口 拓（国立夜須高原青少年自然の家 次長）

内容：夜須高原の間伐材を使って、木の風合いを生かしたオリジナルのバターナイフ作りを行う。

### 【甘木絞り染め体験】

講師：西村 政俊（日ノ目スタジオ 代表）

内容：甘木の伝統文化「甘木絞り」体験を行う。ひとつひとつが手仕事なので、作り手だけのオリジナルの甘木絞りをつくることができる。

### 【森のレストラン】

講師：笹部 沙織（こみせ 代表）

内容：夜須高原の森の中にある石窯でピザ作り体験を行う。生地に使う小麦は筑前町産の「麦太郎」、さらに筑前町特産の「筑前姫酢」を使用することで、地産地消の食育活動を行う。

### 【木の虫かご作り】

講師：鈴木 利和（家具工房和の木 代表）

内容：壊れたら捨てるプラスチック製の虫かごではなく、修理して使い続けることのできる木の風合いを活かした昔懐かしい虫かご作りを行う。

### 【森の写真家になろう】

講師：中村 ふみ子（個人写真家）

内容：参加者一人一人の感性を引き出すために、森と会話するように歩き、心を動かされたお気に入りの一枚を撮影する。

### 【ミツロウ蠟燭作り】

講師：滝田 英徳（街角カフェやまぼうし 代表）

内容：希少な二ホンミツバチのミツロウを使ったりろうそく作り体験を通し、自然と人間との共生について学ぶ。

（裏面：各活動の様子）

【傘の向こうになにが見える？】



【森のめぐみアート】



【木のバターナイフ作り】



【甘木絞り染め体験】



【森のレストラン】



【木の虫かご作り】



【森の写真家になろう】



【ミツロウ蠟燭作り】

